



※学校だよりのタイトル『羽ばたく』は、甲府市出身の宮沢和史さんに作詞作曲していただいた、舞鶴小学校の校歌の歌詞の一節です。「ふるさとを愛し、羽ばたく子に」になって欲しいとの願いをこめてタイトルとしました。

実りの秋に向けて

子ども達は、校外学習や授業参観、まいづるまつり等、様々な行事に積極的に取り組みました。「西中学区三校連携拡大校内研究会」では、2年生も5年生もしっかりとした態度で授業に取り組んでいました。読書の秋、運動の秋、など秋は何事を行うにも良い季節ですので、しっかりと力を蓄えていって欲しいと思います。また、11月1日より甲府市は感染レベル1となり、少し安堵した気持ちで6年生と修学旅行に出かけることができました。保護者の皆様のコロナ感染対策へのご協力に感謝します。もちろん引き続き感染対策を行う中で教育活動を行うことは変わりませんが、このまま沈静化してくれないかと願っています。

秋の「朝のあいさつ運動」

舞鶴小と池田小、西中は同じ西中学区として三校連携活動を行っています。継続指導の視点は「あいさつ・ききかた・おもいやり」ですが、12～14日には、三校が日を合わせて第2回目の「地域連携あいさつ運動」を行いました。保護者のみならず「なでしこガーディアン」や育成会・民生児童委員の皆さんなど地域の方も含め、3日間でのべ33名の方に参加していただきました。地域の方には、普段から子ども達への声かけや見守りをいただいています。これからも子ども達の健全な育成のため、ご支援とご協力をお願いいたします。



陸上記録測定会

昨年度は各学校で行った陸上記録測定会でしたが、今年度は、緑が丘陸上競技場で実施されました。陸上記録会に向けて西中学校の皆さんが来校し、子ども達に競技のポイントを教えてくださいました。昨年度までいた「友達」が中学生の「先輩」として振る舞う姿は、6年生にとって来年の自分を重ね合わせることができる良い機会になったと思います。

当日は、市内の全小学校が集まると密を避けられないため、参加校を2グループに分けて午前と午後の実施となりました。競技会ではなく記録測定会という意味は、自己の記録をより良くしようとするのが目的だからです。リレーが終わって「1分を切れたかな」と言っていた子がいましたが、競い合う相手は自分であり「より速く、より高く、より遠くへ」を意識していて素晴らしい一言と思いました。

子ども達にも話しましたが、人生の中で「競技場」を使って走ったり跳んだり投げたりする経験は、なかなか味わうことができません。また、市内の6年生が同じ場所に揃い、更には来年度一緒に通う西中学校の友達が隣に座り、その中で出場した友達を応援した経験も子ども達の心に残ってくれると思います。そして、落ち着いて応援する姿はとても素晴らしく、他校の先生から「舞鶴の子は、みんな良くあいさつをしますね」とうれしい言葉を頂きました。さすが舞鶴の子と思いました。



業前なわとび

子ども達の体力の向上に向けて、本校では「なわとび」に取り組んでいます。運動会に披露させていただいた「リズムなわとび」の他に、自分で跳びたい種目に挑戦するなわとび運動もあります。子ども達は、「なわとびカード」を見ながら、「15・16・17・・・」と教えてもらいながら二重跳び、はやぶさ跳び等、高度な技に挑戦したり、自分の得意な種目の回数を増やしたりしていました。



土曜学級

本年度から、「土曜学級」という形で授業参観を行いました。教室に全部の保護者に入っていただき参観する形は、まだまだ「三密」を避けることができないので、昨年度と同様、保護者には特別教室に入っていただき、子ども達の教室での様子を見ていただきました。

前は、教室間をケーブルでつなぎましたが、今回は Chromebook を活用してのオンラインで子ども達の様子をご覧頂くライブ配信の形としました。初めての試みでしたので、途中画像が切れてしまうアクシデントもあり、参観された保護者にはご迷惑をおかけしました。

また、低・中・高ブロックでオンラインではない学年は、体育館での学年授業参観となりました。どの学年もインターネットやスマホなどのICT機器活用における情報モラル教育を扱いました。今回の授業参観の配信は、Chromebook を活用した家庭連携の準備にもなりますが、子ども達の情報モラル教育も同時進行していく必要があると思われました。

まいづるまつり

例年「まいづるまつり」は土曜日にPTA主催で、地域の方の協力を得ながら行っていましたが、コロナ禍の中、食べ物を振る舞うことは難しく、また全員参加ではなかったため、本年度から土曜学級とタイアップして全児童が参加する形で実施しました。

学校委員会で、実施するとすればどの様な形でできるか、ご意見をいただき、最終的に保護者や地域の方の参加はなく、PTA本会の方々もリモートで出演し、全学級のビンゴ大会をすることになりました。

ビンゴが始まると、ビンゴ表を食い入るように見る学級あり、祈りを捧げて見守る学級ありと様々でした。良い番号が出ると「やったー」との声もありました。ビンゴ大会が終了すると、トロフィーやお土産が配られました。

「まいづるまつり」を絶やしてはいけないというPTA会長さんを始め、役員の方々熱い思いで実施することができました。おかげさまで、子ども達は楽しい時間を過ごすことができました。来年度以降も「まいづるまつり」を実施する予定です。コロナ禍が終焉を迎え、地域の方や保護者が様々なブースを立ち上げ、子ども達が大人と交流し、子どもが中心となって学校・家庭・地域が連携できる「本来のまいづるまつり」ができることを期待しています。改めて、コロナ感染対策を万全にしつつ企画されたPTAの皆様方のお力添えに感謝致します。

6年生修学旅行

コロナ禍の中でしたが6年生は、感染症対策を万全にして、2泊3日の修学旅行に行きました。1日目の登呂遺跡では火起こし体験を東照宮では家康の考えを、2日目の三保の松原では日本の伝統文化を東海大学海洋科学博物館では生き物の歴史と多様性を、3日目の鎌倉の大仏や鶴岡八幡宮では日本の歴史文化を、それぞれ学習しました。「百聞は一見にしかず」の諺通り、見学を通して子ども達は学校での学習を深めたと思います。夕ご飯では、2つのホテルでディナーのコース料理をいただき、1泊目のホテルではテーブルマナーも学びました。

バスの運転手さんや乗務員さんから「舞鶴の子は、行動も早く、指示がしっかりと通るしっかりとした子ども達ですね。」とお褒めの言葉をいただきました。また、「これはおばあちゃんの分、これは…」とつぶやきながら、真剣に土産を選ぶ姿や三島スカイウォークで最後に渡りきった友達に自然に拍手が送られた姿から、テーマ「心一つに発見の旅へ！みんなで作る最高のSTORY！」の通り、子ども達の「思い遣る心」を再発見できた素敵な3日間でした。

HPには、子ども達の学校での様子も載せてありますので、こちらもご覧下さい。

